

2022年12月2日

各位

株式会社北洋銀行

マルナカ松屋商事株式会社様の『SDGs宣言』策定を支援しました！

北洋銀行(取締役頭取 安田 光春)は、お客さまのSDGsへの取り組みを支援するため「SDGs宣言サポート」を提供しています。今般、マルナカ松屋商事株式会社様(北海道岩見沢市、代表取締役 中林 正明様)が本サポートを利用し『SDGs宣言』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

当行は今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

1.会社概要

会社名	マルナカ松屋商事 株式会社
所在地	岩見沢市北2条西10丁目3番8号
代表者	代表取締役 中林 正明
業種	食料品卸売業

2.重点項目



※SDGs宣言の詳細は別紙をご参照ください。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。



マルナカ松屋商事 株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。



2022年12月2日
マルナカ松屋商事 株式会社
代表取締役 中林 正明

SDGsの達成に向けた取組

国民に安全かつ、安心な食品の供給

当社の社会的責任を認識し、地球環境を守ると共に、環境保全体制の構築に取り組んでおります。日々の活動、製品、サービスの一連の社業において、「環境基本方針」を定め、省資源の推進やCO₂排出量の削減などに向け、社員一人一人が環境保全を意識して行動してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・植物性複合乳酸菌活用製品の開発と提供
- ・フードロス削減への取組(傷ついた野菜の加工販売など)
- ・廃棄物削減や分別・リサイクルの積極推進
- ・環境問題に関する研修受講
- ・照明のLED化、節電の実施
- ・自社HPIにて環境への取組を公表



社員が安心して働ける職場環境づくり

多様な人材の確保・育成や生産性向上に向けた取り組みを通じて、ワークライフバランスを推進し、職員一人一人が健康で働きがいのある職場を目指してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・ユースエール認定の取得
- ・職務や役職に応じた研修やセミナーの積極受講
- ・協会けんぽの健康経営宣言実施
- ・働き方改革の実施（労働時間管理体制の構築）
- ・ワークライフバランスの推進（産休、育休制度導入等）



信頼される企業へ

商品開発や食品流通に「安心・安全」「信頼・美味しさ」を追求すべく、法令遵守を徹底し、職員が安全に働ける企業経営に努めることで、常にお客様に信用していただける会社を目指してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・BCP認定の取得
- ・コンプライアンスやハラスメントに関する相談窓口の設置
- ・SDGsへの取組の社内周知と勉強会実施
- ・職員の「飲酒運転撲滅宣言書」署名による意識醸成への取組
- ・不正行為を禁止する旨を就業規則へ明記
- ・メーカーと連携した商品企画・製造・販売までのワンストップ体制構築



地域に根差した企業へ

地域産の材料・製品を積極的に利用し、地元人材の積極採用、地域イベントへの参加を通じて地域社会へ貢献してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・地域産の材料・食品・製品の積極使用
- ・観光協会と提携した地域イベントへの協賛
- ・地元人材の積極的な採用
- ・地元プロスポーツチームへの協賛
- ・地元高校の職場見学受入
- ・自社周辺の清掃活動



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

